

ミュージカル「ひめゆり」

第一幕

本ベル。M1スタート。M1演奏中に客電アウト。

M1「オーヴァーチューア」

◆M1スタートから2秒後に、映像1「オープニング映像」フェイド・イン。使い切りでM1終了までに終わる。

第一場「沖縄の風景〜那覇の街」

M1A「幕開きの風景」

M1Aの頭で緞帳アップ。太平洋戦争末期の沖縄。のどかな田舎の風景。舞台中央にシーサーのあるキミの家。上手はさとうきび畑。下手は船で漁をする海人。軍人が住人に赤紙を届けにやってくる。キミの父にも赤紙が届く。緊張する住人。大規模な空襲の知らせが届き、人々は急いで避難の準備を始める。任務地に駆けつける日本軍兵士と鉄血勤皇隊の少年たち。◆舞台奥から逃げてくる四組の男女民衆と同時に、映像2「出撃する三機の零戦」。荷物をかついで足早に逃げる民衆。舞台は沖縄の田舎の景色から那覇の街へ転換。◆映像3「那覇の教会と流れ雲」。左右に電柱。居並ぶ日本軍兵士。【SE】一発の銃声でM2スタート。

M2「1945沖縄」

米軍上陸が迫り、恐怖で騒然とする沖縄の民衆。

沖縄の民衆

攻めて来るアメリカ 悲劇が始まる
やっけて来る戦争 沖縄はどうなる

攻めて来るアメリカ 逃げ出すか本土へ
やっけて来る戦争 最後まで戦うか

キミ

美しい沖縄 愛するふるさは
最後の戦いの戦場となってゆく

民衆女性

子供たちはどうする
早く逃げさせたい

(※注 子供たちを本土へ疎開させる命令が出たが、「対馬丸」のような悲劇が起きた。)

民衆男性

男たちは武器を持って
この地を守るため

民衆女性

アメリカが来る前に

民衆男性

上陸する前に
最後の一人まで
命捨てて戦え

民衆の男性たち、武器を持ち戦う覚悟。日本軍兵士たちが銃剣を構え、舞台前へ進む。

日本軍兵士

攻めて来いアメリカ 決戦はこれから
迎え撃つ陸軍 上陸は許さず

やって来い戦争 ニッポンの力と
民族の叫びは 勝利を我らに

たまらず、軍人たちに詰め寄る民衆。

民衆女性

私たちはどうなる

サチ

子供の命は

民衆男性

この街はどうなる
私のこの店は

答えず、民衆を蹴散らして進む軍人。女性が兵士に殴り倒されて道に倒れる。怒号と悲鳴。日本軍兵士たちは傍若無人に去って行く。取り残される民衆。小さな島に米軍が上陸する恐怖。

沖繩の民衆

攻めて来るアメリカ 悲劇が始まる
やって来るアメリカ 沖繩はどうなる

キミ

美しい沖繩 愛するふるさと
最後の戦いの戦場となつてゆく

美しく平和な 私ふるさとよ
このまま戦いの犠牲にはならないで

キミ

お願いよ どうか
愛するふるさとよ
平和な沖繩の
ままでいて

(沖繩の民衆)

美しい沖繩
愛するふるすとは
最後の戦いの
戦場となつてゆく

ア――

ア――

ア
ア
ア

ア
ア
ア

【SE】飛来する戦闘機の轟音。逃げて行く民衆。M2終了。
◆M2終了と同時に映像3はフェイド・アウト。

第二場「学校（沖縄師範学校女子部）」

M3「決断の時」

明転で那覇の街のセットが飛び、沖縄師範学校女子部の朝礼となる。慌ただしく校庭に集合させられる生徒たち（へちま襟の制服姿）。生徒に号令をかける級長のはる。生徒の前に立つ教職員、軍人、国防婦人会の女性。舞台中央奥の壇上に岡教頭先生が上がる。

はる
気をつけ！ 前へならえ！ なおれ！

岡教頭先生
沖繩はもうすぐ戦場になる
時は迫った 決断の時だ
君たちに問う 親元に帰るか
学校に残って 共に戦うか

日本のため お国のため 命を捧げる
理想の生徒の姿 美しい行為だ
我らは君たちに期待している

親泊先生
神谷先生
学校はもうすぐ戦場になる
覚悟を決めて 決断の時だ

岡教頭先生
神谷先生
親泊先生
大人たち
君たちに問う
学校を捨てるか
最後の時まで
戦い抜くか

全員
岡教頭先生
日本のため お国のため 命を捧げる
理想の生徒の姿
美しい行為だ

大人たち
我らは君たちに期待している
今こそ君たちの力を合わせて勝利を

全員

はる、生徒を起立させる。回れ右して前を向く生徒。

日本のため お国のため 命を捧げる
理想の生徒の姿 美しい行為だ
力を合わせて勝利を――

M3 終了。教師たち大人は退場。生徒だけが残って議論する。

M4 「お国のために」

はる

かな

みさ

あき

キミ

家に帰る？

学校に残る？

あなたは？

どうする？

ここに残る？

みち

のぶ

みよ

ちよ

何が出来る？ ここに残って

あなたは どうする？

学校に残る？

私は分からない

ふみ

帰りたい 家に

妹がいるの

からだが弱い

あの子を連れて

私は帰りたい

ふみに同調するちよとゆき。

ちよ・ゆき

ちよ

ゆき

帰りたい私も 家族と暮らすわ

母が病気の

このままここで私死にたくない

はるが強く主張する。

はる

非国民とののしられる

裏切り者と指さされて

生きてゆける？

狭い故郷 こんな時に

逃げ出すなんて

はるに同調するかなとみさ、たき。

かな

何かができるわ

みさ

弱音はいやだわ

たき

臆病じゃないわ

クミ

(ちよに) 肩が震えてる

はる

私は残るわ

親元へ帰りたいという意見は、はるを中心とした学校に残って戦おうという意見に集約されていく。

生徒たち1

帰れない今は

生徒たち2

帰りたい家に

生徒たち全員

とても怖いけど

みんなを捨てて

今は帰れない

決意を固める生徒たち。

お国のために役に立とう

出来ることは小さくても

負けはしない

私たちが守ってみせる

命かけて

共に戦うことを誓い、前向きに激励し合う生徒たち。ふみをサス中に残して生徒たちは全員退場。同時に舞台転換(カミシモから学校の門が滑り出る)してM4終了。

第三場「学校の門の前」

M5「今は帰れない」

大勢の避難民が行き交う学校(沖縄師範学校女子部と沖縄県立第一高女)の門の前。荷物を抱えた民衆や軍人が横切る。ふみが門の外に出て来て、待ち合わせた母キヨを見つける。

ふみ

母さん ここよ

キヨ

ふみ 帰れるの？

ふみ

だめよ みんなここに残るの

キヨ
ふみ

帰っておくれ ルリと一緒に
いつか帰るわ それまで家にいて
今は帰れない 仕事があるのよ
とても怖いけど みんなを捨てて
私だけ行けない

非国民とののしられる
裏切り者と指さされて
生きてゆける？
せまい故郷 こんな時に
逃げ出せない

必ず帰るわ 妹を連れて
それまで待つてて
必ず生きてお家に帰るわ

群集が通り過ぎるなか、母子は抱き合い別れる。キヨはふみに風呂敷包みを手渡して退場。代わってキミが校舎の中から走って登場。

キミ

ふみちゃん 決まったわ

ふみ

私たちの任務が
キミちゃん

キミは、生徒に配布された辞令をふみに手渡す。

キミ

ふみ

私たち 陸軍病院へ行くの
陸軍病院？

崇高な任務に瞳を輝かせるキミ。

キミ

傷ついた兵士たちを
助けるために行くのよ
卒業式が終わったらすぐに

キミ

(ふみ)

お国のため
役に立つの
出来ることは
小さくても

私は帰れない
役目があるのよ
とても怖いけれど
私は残る

アアア――

アアア――

キミ・ふみ

負けはしない 私たちで
守ってみせる 命かけて
ラーララーララ――

ラララララララ——

二人は敬礼し合い、仲良く手を繋いで校舎の中へ。ふみが母からもらった風呂敷包みを道に忘れ、慌てて引き返す姿を見て笑うキミ。
M5終了。

第四場 「三角兵舎」

M6 「別れの歌（卒業式）」

M6頭で舞台転換。学校の門と校舎は消え、ろうそくの炎を灯しただけの薄暗い三角兵舎に急遽集合した生徒と教職員による卒業式。舞台前に卒業証書を置いた机が置かれる。遠くに爆弾の音が聞こえるたびに、生徒たちは肩をすくめる。はるが生徒代表として机の前に進み出る。◆生徒たちが全員整列したところで、映像4「三角兵舎」フェイド・イン。

はる

私たち沖縄師範学校二年生四十名は（※注 二年生で卒業だった）
今日ここに師範学校を卒業し
軍命により南風原（はえばる）陸軍病院へ
篤志（とくし）看護婦として従軍いたします
お世話になった先生方
お父様 お母様 ありがとうございます

はる

共に学んだ 校舎をあとにして
今日からは一人 それぞれの明日へ
二度と戻らない 優しいこの日々
口づけしてゆく さよならと告げて

堪えきれず嗚咽するふみを見るキミ。ふみにハンカチを渡すゆき。

友達だった あたたかい人に
今言えるのはありがとうだけ

生徒たち

遙かな希望と 熱い思い胸に
私は旅立つ まだ見ぬ世界へ

先生が舞台前の机へ。卒業証書を手渡そうとしたその時、兵舎の近くに爆弾が落ちる。煙がたちこめ、兵舎の天井が落下。生徒たちは悲鳴を上げ、パニックになる。ろうそくの炎は消され、卒業式は急

第五場 「那覇の街」

遽取り止めとなった。(※終戦から33回忌を終えた昭和54年、生き残った学徒と教師によつて、この卒業式の続きが行われた。)
◆M6終了と同時に、映像5「那覇の教会と赤い雲」にクロスフェイド。

M7 「涙をかくして」

舞台転換して、那覇の街。舞台奥から、滝軍曹を筆頭に特攻隊員が6人登場する。

滝軍曹

うろたえるな
背を向けるな
日本軍は負けない
本今朝 アメリカは
沖繩に上陸した

特攻隊員

進め 一億 火の玉だ！
撃ちてしまん
いざ花と散れ

滝軍曹

鬼畜米英に体当たり！

滝軍曹、退場。整列する特攻隊員。

民衆・生徒たち

ばんざい！ ばんざい！ ばんざい！ ばんざい！

日の丸の小旗を打ち振り、特攻隊員を見送る民衆と生徒たち。
あきが照明に浮かび上がり、言えない心情を歌う。

あき

あんなにあどけない横顔に
涙をかくして彼は行く
特攻隊 敵に飛行機ごと体当たり
もう二度と二度と帰らない

〔解説／沖繩の特攻隊〕沖繩戦に出撃した特攻隊員の数は、千三十六名。そのほとんどが鹿児島県の知覧基地、宮崎県の都城基地など本土から出撃した特攻隊だったが、沖繩本島（二十名）、石垣島（三十一名）、宮古島（十名）の3島からも出撃し、合わせて六十一名

の沖縄県特攻隊員が犠牲になっている。
民衆の歓声。打ち振られる日の丸の小旗。行進して行く特攻隊員。
兵士と民衆は舞台奥に退場。追いかけてあきは泣きながら走り去る。
同時に舞台転換して那覇の街が飛ぶ。◆映像5フェイド・アウト。

第六場「従軍く南風原陸軍病院前」

鉢巻きをしめ、学徒靴をたすきにかけ、尊い使命感に胸を弾ませて
従軍して行くひめゆり学徒隊。

学徒たち（従軍）

お国のために役に立とう
出来ることは小さくても
負けはしない
私たちが守ってみせる
命かけて

学徒たちは南風原陸軍病院前に到着する。整列した学徒たちの前に、
南風原陸軍病院看護婦長の上原婦長と二人の看護婦が登場。生徒た
ちに、ここでの仕事について訓示する。

上原婦長

みなさん これから私たちも
涙をかくして いくさです
傷つき助けを待つ兵士のために
命あるかぎり尽くしましょう
倒れた兵士には手をさしのべ
聞きましょう
孤独な兵士には笑顔を見せて
話しましょう

上原婦長を囲んで丸く座る学徒たち。

どんな薬も苦しさも
まことの愛にはかなわない
命助けること 戦争のなかで
私たちに今 出来ること

全員手を繋いで舞台前へ———紗幕が降り、舞台奥は転換。

第七場「紗幕前」

上原婦長・学徒たち

どんな薬も苦しさも
まことの愛にはかなわない
命助けること 戦争のなかで
私たちに今 出来ること

学徒たちは、上原婦長の周りに集まり、次々に質問する。

ふみ 何をやったらいいの？
キミ 包帯はどうして巻くの？
ちよ 注射はどうしてするの？
ゆき 私 血は見たくない
みさ 男の人はこわいわ
はる 患者はたくさんいるの？

音楽が衝撃的に変化する。全員前を凝視する。紗幕奥に照明が入り。大勢の重傷患者たちが暗闇の中で両手を宙にさまよわせ、苦しみもだえる生き地獄のような陸軍病院内部の光景が浮かび上がってくる。音楽中で、兵士が動物のようにうめき、泣き叫ぶ声が聞こえてくる。恐ろしさに足がすくみ声を失った学徒たちは、ただ上原婦長にしがみついて見つめるだけ。紗幕が上がり、病院内部となる。

第八場「南風原陸軍病院」

M8「陸軍病院」

暗いランプが下がった病院壕。並べられた簡易ベッドの上で苦しむ重傷兵士たち。砲弾で脳を損傷した脳症兵士は、正気を失っている。必死で手当をする軍医と看護婦。助けを呼ぶ兵士の声が絶えない。

重傷兵士たち

助けてくれ 誰かいるか
ここに来い 早くしろ
水がほしい 便器をくれ
尻がかゆい 足が痛い
薬をくれ 腹が減った
息が出来ぬ 殺してくれ
どうにかしろ 傷があつい

助けてくれ 地獄から

パニックになる学徒を叱咤激励して任務につかせる上原婦長。

重傷兵士たち

助けてくれ
誰かそばに
早く来い
早くしろ

(上原婦長)

助けましょう
今すぐに
あなたのそばに
ここにいるわ

水がほしい
便器をくれ
尻がかゆい
足が痛い

水を汲んで
お願いね
掻いてあげて
痛み止めを

薬をくれ

(キミ)

今行くわ

腹が減った
息が出来ぬ
殺してくれ

(ふみ)

今来るわ
楽になるわ
大丈夫

重傷兵士1

重傷兵士2

杉原上等兵

ふみ

重傷兵士3

重傷兵士4

水をください 少しでもいいから
食べ物をください どうか
(キミの手をつかみ) 学生さん! 助けてください
耐えられないつらさを
軍医さん! (軍医をさがすが見つからない)
傷口にウジがわき 腐ってゆく足が!
薬をください 早く薬に

絶望的な状況に途方にくれる学徒たち。

ふみ

キミ

はる

ゆき

ちよ

みさ

どうすればいいの?
分からないわ
これが病院!?
私おうちに帰りたい
息がつまるわ
この人死んでる!

死んだと思った重傷兵士が急に起きたので学徒たちはびっくり。

学徒たち

キヤア——!

重傷兵士たち

助けてください 私の苦しみを

重傷兵士の病床を巡り、元気づける上原婦長。婦長の姿を見ると、荒くれていた兵士たちが安らぐ。驚き婦長を見つめる学徒。

上原婦長

私に話して 傷の痛みを
のどの渴きを さあ

苦しみ聞かせて

耐えられないつらさを

傷口に手を当てて

苦しみを分け合えば

少しだけ心が楽になるわ

癒しきれない心の痛み

きつと信じて

安らかで平和な夜が来ると

夢見て その日を

私に話して

あなたの苦しみを

落ち着き、静かに眠りにつく兵隊。上原婦長の大きな力を知り、心動かされる学徒。上原婦長は軍医に呼ばれて退場。M8終了。

M9「これが戦争だ」

突然、兵士が叫び声を上げて苦しみ出す。駆けつけたキミが苦しむ兵士の傷口を見て、悲鳴を上げて飛び退く。

キミ

キヤー！ キヤー！ キヤー！

キミは飛び退いた拍子に、檜山上等兵のベッドの上に尻餅。起き上がる檜山上等兵。

檜山上等兵

どうした？ 学生さん

キミ

傷口に両手一杯すくえるほどのウジ虫が！

体についた多数のウジ虫を必死に払うキミ。

檜山上等兵

ウジ虫

キミ

大丈夫

檜山上等兵

慣れるよ 学生さん そんなことは

キミ

キミよ

檜山上等兵

檜山だ

キミ

少し疲れただけよ

どうしてあげたらいいのか
怪我をした大勢の兵隊
傷口にわく無数のウジ虫
薬も包帯も医者も足りない
こんなことでは死んでしまう
助かる人も助けられない

檜山上等兵

キミ

檜山上等兵

今は戦争なんだ
分かってるわ
いや 分かかってない

檜山上等兵

戦争とは何か
俺は見て来た
戦争とは何か

飛び散る肉の破片
死んだ親に抱きつき泣く子供
正義のために殺し
勝利のために犯す
戦争とは何か 俺は見て来た

殺すか殺されるか
理性は死に 心は狂い出す
軍隊は住民を守らず
虐殺も快感に変わる
戦争とは何か 俺は見て来た

重傷兵士の苦しみもがく姿と喚く声が強調される。

檜山上等兵

これが戦争だ！
傷つき のたうちまわる
サイパン シンガポール フィリピン
略奪と強姦の果てに
この手についた赤い血
幾度洗っても消せはしない
この世の地獄だ！

キミは立ち上がり、檜山に向かって言い放つ。

キミ

もうじき終わるわ！ 日本の勝利で！

走り去るキミを見送る檜山上等兵。M9終了。

M 10 「鬼軍曹」

滝軍曹が登場し、学徒たちをこき使う。

滝軍曹

この患者は死んでる
水汲みを手伝え
ぐずぐずするな
手術が始まる
お前とお前だ 早くしろ！

軍曹退場。嘆く学徒。

のぶ

恐ろしい軍曹

みち

仕事は戦争

かな

どんどん増える

やえ

重傷患者

とし

5分でいいから休みたい

病院内に煙が満ちる、滝軍曹は学徒に換気を命じる。

滝軍曹

空気が悪いぞ

ヒサ

換気の用意よ

滝軍曹

ぐずぐずするな

はる

換気の用意だ

滝軍曹

みんな並んで

はじめ！

軍曹は退場。学徒は全員病院の通路に並んで、布を振って風を送り
壕内の換気をする。【換気ダンス】

学徒たち

死んじまえ軍曹
どなっていじめろ
両手はくたくた
足もふらふら
5分でいいから休みたい

滝軍曹は、飯上げの樽を2つ持って登場。学徒に命じる。

滝軍曹

お前たち集まれ
飯上げの時間だ
砲弾飛び交う危険な場所へ
決死の覚悟で行ってこい！

第九場「紗幕前」

舞台前に集合する学徒。軍曹は飯上げの樽を置いて舞台奥へ退場。同時に紗幕が下りて学徒たちが紗前に残る。紗奥は手術室に転換。

かな 恐ろしい軍曹
みち どなつていじめる
もも 軍人はきらい
ちえ いばつてばかり
ゆき 分かつてくれない
のぶ この気持ち
はる しっ！ 聞こえるわ

飯上げの樽を見つめるちよ。

ちよ 何より怖い この飯上げ任務
みさ 今日も誰かが犠牲に

学徒たち 恐ろしいあの軍曹！
死んじまえあの軍曹！

滝軍曹登場。学徒たちは逃げるように飯上げに出かけて行く。

M11「手術」

滝軍曹退場。紗前にキミ。逆袖からふみ、あき、上原婦長登場。

ふみ (キミに) 手を貸してちょうだい
あき 手術が始まる
キミ どんな手術なの
上原婦長 足を切断するのよ

ショックを受けるキミ。紗幕が飛んで、手術室となる。

第十場「手術室」

舞台中央奥、杉原上等兵を乗せた手術台が照明に浮かび上がる。

軍医と二人の看護婦が、杉原の身体を押さえつけている。
上原婦長と学徒は手術台へ。泣き叫ぶ杉原上等兵。

◆紗幕が上がると、映像6「手術室」フェイド・イン。

杉原上等兵

うわ——つ!!

お願いだ！ 切らないで！

僕の足を切るぐらいなら

いっそ殺してくれ!!

手術台を横から縦に回転させる。

上原婦長

生きるのです！ 何があっても！

頑張りなさい！ 帝国軍人でしょう！

麻酔なしで杉原の足を切断する軍医。

杉原上等兵

うわ——つ!!

嘔吐感をもよおすキミを見て。

上原婦長

吐きたかったら 吐いてしまいなさい

その方が楽よ

あばれる杉原の身体を必死で押さえる婦長、看護婦と学徒。

◆映像7「血しぶき」にクロスフェイド。

杉原上等兵

うわ——つ!!

杉原の絶叫と共に足は切断される。切断された足を高く掲げる軍医。

卒倒するふみとあき。暗転——手術台と人物退場。M11終了。

◆暗転と同時に、映像7カット・アウト。

第十一場「南風原陸軍病院前の森」

M12「この身をかけて」

舞台転換。南風原陸軍病院前の森。石垣。砲弾の音が聞こえ、飯上
げに出かけようとした学徒たちは、恐れをなしてしゃがみ込む。滝
軍曹の姿を発見して、学徒たちは夜の森へと走って行く。歩哨の若
い兵隊が軍曹に敬礼して通り過ぎ、陸軍病院の見張りに当たる。

滝軍曹

この美しい 私のふるさとよ 神の国
海は清く 山は気高く 川は澄み流れる 永遠に

幼い日 母の背中でまどろみ聞いた

子守歌の歌声は 鉄の音にかき消された 突然に

奴らは来る この国を奪うために

守り抜くぞ この命

たとえ地獄の炎に投げ入れられても 負けはしない

この美しい 私のふるさとよ 私の国

母は清く 兄は気高く 父は強く正しい 永遠に

幼い日 生まれ育った ふるさとの家も

奴らは燃やして 母の命を奪った 突然に

奴らは来る この国を奪うために

守り抜くぞ この国を

母とふるさとのために この身をかけて 恐れはしない

守り抜くぞ この命

たとえ地獄の炎に投げ入れても 負けはしない

負けはしない

滝軍曹退場。森へ舞台転換。M12終了。

第十二場「夜の森（飯上げの道）」

M13 「米軍なんか怖くない」

夜の森へ飯上げに出かける学徒たち。【S E】 砲弾の音が遠く近くに聞こえ、学徒たちを震え上がらせる。

大丈夫

当たらない

米軍なんか怖くない（【S E】 砲弾の音）

みさ
かな
はる

みち 運がよきや (【S E】 砲弾の音)
のぶ 当たらない
クミ 米軍なんか怖くない

ちよ お守りがある
母からもらった 大切なもの

生徒全員お守りを見せる。

生徒たち お守りがある

ゆき 雲が出て来た
もう見つからない
これで見えない
雲が出て来た

生徒たち 大丈夫
当たらない
米軍なんか怖くない (【S E】 砲弾の音)
運がよきや (【S E】 砲弾の音)
当たらない
米軍なんか怖くない

かな 一番危険な飯上げ任務
命がけだわ
ご飯を取りに行け

はる 勇気を振り絞って、飯上げの道に行く生徒たち。

かな 大丈夫 当たらない
米軍なんか怖くない
運がよきや 当たらない
米軍なんか怖くない

みさ 怖くない 怖くない 怖くない

生徒たち 突然視界が広がり、生徒たちは、沖繩の海上に集結したおびただしい数の米軍艦隊の姿を見つける。驚きと恐怖で腰を抜かしながら、生徒たちは一目散に走って退場——暗転。M13終了。

第十三場 「炎上する那覇の街」

M 14 「沖繩の悲劇」

音楽5小節目頭で照明。星条旗を掲げて沖繩本島に上陸。進軍する米軍兵士。◆映像8「炎上する那覇の街」フェイド・イン。民衆は沖繩の悲劇を歌う。

沖繩の民衆

美しい沖繩 愛するふるさとは
最後の戦いの戦場となってゆく

支配され利用され見捨てられた沖繩
悲しみの炎に包まれた島々

お願いよ 沖繩 愛するふるさとよ
愚かな戦争の犠牲にならないで

サチの夫が米兵に射殺される。夫の遺体にしがみつくとサチ。

沖繩の民衆

攻めて来るアメリカ 悲劇が始まる
やって来るアメリカ 沖繩はどうなる

サチ

美しい沖繩 愛するこの人の
命を返して お願いよ今すぐに

美しく平和な 私ふるさとよ
このまま戦いの犠牲にはならないで

サチ

お願いよ どうか
愛する この人の
命を返して
今すぐに

(沖繩の民衆)

美しい沖繩 愛するふるさとは
最後の戦いの
戦場となってゆく

ア
ア
ア
ア
ア

ア
ア
ア
ア
ア

米軍に追い詰められる民衆。【SEと映像】爆発―暗転。

◆暗転と同時に、映像8カット・アウト。

第十四場 「上原婦長の部屋」

M 15 「学生さんありがとう」

照明がついて、南風原陸軍病院内の上原婦長の部屋。簡素な机と寝台。薄暗いランプが2つ灯されている。寝台に手術後の杉原上等兵が寝かされている。切断された右足が痛々しい。キミがつきつきりで看護をしている。すでに夜も遅く、キミの疲労も濃い。

杉原上等兵

学生さんありがとう

キミ

いいのよ

杉原上等兵

ありがとう 学生さん

キミ

どうぞ 休んでください

杉原上等兵

学生さん名前は？

キミ

キミよ 兵隊さんは？

杉原上等兵

杉原良一

キミ

杉原さんね お生まれは？

杉原上等兵

すずらんの咲く根室です

キミ

きれいでしょうね

杉原上等兵

母と妹がいます あなたは？

キミ

両親と弟が一人・・・

離れて安否の分からぬ家族に思いを馳せるキミ。

杉原上等兵

ありがとう学生さん

僕の命を救ってくれた

悲しみがこみ上げるキミ。M 15終了。

M 16 「生きて帰って」

キミ

・・・杉原さん？

キミが振り向くと、杉原はどうやら眠ったようだ。額の汗を拭き、毛布をかけてやるキミ。

キミ

どうぞ眠って すべてを忘れて

傷つき孤独な 心を休めて

どうか死なずに 生きて帰って

お国のため役に立つと

誓ってここに来たけれど

もうたくさんです
こんな悲しみは
彼はこんな若さで
足を失いました

家族も知らない
遠くで泣いています
どうか死なずに 生きて帰って
どうか死なずに 生きて帰って
死なずに どうか

キミ、涙で祈る。M16終了。

M17 「ナイチンゲール」

上原婦長と担架を持った二人の兵隊が登場。杉原は担架に乗せられて退場する。去り際に、キミに向かって敬礼する杉原。キミの胸に熱いものがこみ上げる。

キミ

上原婦長

上原婦長・・・
疲れたでしょう よく頑張ったわ
つらかったでしょう
今夜はここで（婦長の寝台で）ゆっくりとお休みなさい

突然泣き出すキミ。婦長は近づくが、キミは離れる。

キミ

助けても兵士たちは
また戦場に行く
誰かの命を奪い
そして命を落とす
いくら助けても無意味だわ

上原婦長

いいえ無意味ではないわ
それでも助け続けるの

キミは涙が止まらない——婦長の寝台へ。婦長はキミの隣に座り、看護婦になろうと決意した理由を話し始める。

上原婦長

小さい頃 本で読んだ
天使のような その人

戦争の地獄に

現れたその乙女は
フロレンス・ナイチンゲール
ランプを持った天使

クリミア戦争で
苦しむ兵士たちの
命を救った
私を変えた人

舞台中央奥の紗幕（奥紗）奥に、ランプを持ったナイチンゲールと看護婦が傷ついた兵士のベッドを巡回する姿が浮かぶ。クリミア戦争（19世紀）のスクタリ野戦病院の幻想。

幻想の看護婦
上原婦長
幻想の看護婦
上原婦長
幻想の看護婦
上原婦長
幻想の看護婦
上原婦長
幻想の看護婦
上原婦長

フロレンス・ナイチンゲール
敵味方もなく
ランプを持った天使
命を助けること
クリミア戦争の
命の重さを
地獄に現れた
私に気づかせた

紗奥のナイチンゲールと看護婦の幻想は消える。

上原婦長
キミ
私は戦いたい
希望を持ちたい

命の重さを
すべての人たちが
気づく
その時まで
(キミ) あなたと戦いたい
この世からいくさが
消える
その時まで

上原婦長に抱きついて泣くキミ。M17終了。

M18 「忘れないわ」

人々の足音。必死の声。飯上げに出かけた学徒たちが血相を変えて走り込んで来る。

はる
かな
婦長さん ちよが！
ちよが撃たれたの！

驚きと衝撃。神谷先生に抱えられて、瀕死のちよが舞台上の寝台に運ばれる。ちよを囲む学徒たち。皆、泣いている。

学徒1

ちよ！

学徒2

ちよ！

学徒3

ちよ！

上原婦長は、運ばれてきたちよの傷を見るが、一目で致命傷であることが分かり、ショックを受ける。

ちよ

もういいの

薬は兵隊さんにあげて

私は助からないわ

おなかをやられているから

泣く学徒たち。

ちよ

ねえ 覚えてる？ 夏のあの日

川で泳いで 溺れたわね

ええ 覚えているわ

ねえ 覚えてる？ 秋のあの日

素敵な人を好きになった

ええ 覚えているわ

ねえ 覚えてる？ 冬のあの日

帰りに食べた 甘いお菓子

ええ 覚えているわ

忘れないわ 春のあの日

みんなのことを 忘れないわ

あき

みち

ちよ

ちよは息を引き取る。泣いてちよにすぎる学徒たち。級友から初めて犠牲者が出たことに大きな衝撃を受ける学徒たち。

学徒たち

ちよ！ ちよ！・・・ちよ！ わあ——っ！

キミはいたたまれなくなって、泣きながら病院の外（舞台前）に飛び出して行く。ふみがキミのあとを追う。紗幕（前紗）が降りて、舞台奥は陸軍病院に転換。

第十五場「紗幕前」

死んだちよの魂か、病院前の夜空に一匹のほたるが飛ぶ。

ふみ

あ・・・ほたる

ほたるを見つめるキミとふみ。ほたるは飛んで行き、M18終了。
直後に近くで【SE】激しい機銃掃射の音。慌てて壕（病院）の中
に逃げて行くキミとふみ。紗幕が飛んで、陸軍病院。

第十六場「南風原陸軍病院」

M19「なぜ大勢の少女が」

近づいた敵の攻撃に、一気に緊迫する陸軍病院内。

檜山上等兵

いよいよ来たぞ

杉原上等兵

アメリカが攻めて来た

この病院は

我々はどうなる？

檜山上等兵

時間の問題だ

馬乗り攻撃を受けたら

ひとたまりもない

学徒たちがいる

彼女たちの命は

〔解説／馬乗り攻撃〕日本軍は、自然洞窟を利用して持久作戦を展開した。それに対し米軍は、出入り口を占領して、爆雷・ガス弾などを投入したり、さく岩機で穴を開けて爆薬を仕掛けるなどの戦法に出た。地下では、そのような攻撃を「馬乗りされた」と言った。

檜山上等兵

なぜ こんなに

大勢の少女が

戦争の現場に

兵士と一緒に

【SE】爆音。学徒たちの悲鳴。入口付近に煙。煙を吸い込んだキミが駆け込んで逃げて来る。学徒や教師に逃げろと言う檜山。

檜山上等兵

何してるんだ！

とつとと逃げろ！

早く！

キミ

この人たちを置いて
行くことなど出来ない

歩けない患者が

大勢いるのよ

檜山上等兵

俺たちにはかまうな

兵隊なんだ！

キミ

私たちも一緒に

戦っているのよ

【SE】爆弾が落ちてよろめくキミ。杉原上等兵がキミをかばう。

杉原上等兵

君に会えて

本当によかった

人生の最期に

この世の地獄で

キミ

杉原さん

【SE】近くに爆弾が落ちる。キミを守る杉原上等兵。M19終了。
天井全体が崩れるような不気味な破壊音。続けてサイレンの音。

M20 「攻めて来たアメリカ」

いよいよ危機が迫る。緊迫する陸軍病院の人々・兵士。

全員

攻めて来たアメリカ

ここにも もうすぐ

やって来たアメリカ

病院も危ない

【SE】爆弾が入口付近に落ちる。煙が上がり、見張りの兵隊が顔を
をやられて倒れ込む。学徒たちの悲鳴。患者たちも騒然となる。

全員

攻めて来たアメリカ

男性全員

俺たちを殺しに

全員

やって来たアメリカ

男性全員

患者は見殺しか

兵士を捕まえて聞くふみ。

ふみ

私たち どうなる

第二外科に妹が！

檜山上等兵

俺たちはどうなる
このまま置き去りか

ルリ（ふみの妹）が姉をさがして病院内に飛び込んでくる。

ルリ
お姉ちゃん！

ふみ
（妹を発見）ルリ！（抱き合う姉妹）
落ち着け！！

滝軍曹

滝軍曹の周りに集まる人々。

滝軍曹

アメリカはここまでは絶対に来られない！
我が軍の反撃に今や逃げ始めた！
病院は安全だ！

質問を遮って去る滝軍曹。怒号が飛び交う。神谷先生と親泊先生は、
学徒たちに防空頭巾を配る。ふみは妹に言い聞かせる。

ふみ
離れないで これからは
どんな時も そばにいて
ふるさとへ 帰るまで

ルリ
一緒にいて 私と必ず！
お姉ちゃん！

【SE】近くに爆弾が落ちる。ふみはルリを抱きしめる。

親泊先生
檜山上等兵
神谷先生
上原婦長
生徒たちの命を
このままではやられる
闇について脱出を
軍医と相談します

防空頭巾をかぶるはる、かな、みさ。

はる
攻めて来たアメリカ
いよいよおしまい

かな
やって来たアメリカ
私たちの命は

みさ
ついに来た終わりが
十七歳四ヶ月

くちづけも知らずに
さようならみなさん

おろおろと逃げ惑うはる、かな、みさ。あきが悲鳴を上げて入口か

ら駆け込んで来る。

あき

キャ———っ!!

アメリカがすぐそこに!

敵の姿を見たわ!

神谷先生

我が軍の飛行機は!?

あき

飛んでないわ 一機も!

絶望的な悲鳴と怒号。騒ぎ出す病人。パニックになる学徒。暴れ出した患者を必死で押さえようとする看護婦。病院内は修羅場と化す。

全員

やって来た足音

地獄へ行こう いざぎよく

男性全員

覚悟を決めよう

女性全員

私もこのまま

ふみ

いけない 死んではいけない!

【SE】近くに爆弾が落ちる。死を覚悟した重傷兵士たち。

重傷兵士たち

天皇陛下万歳———!!

学徒たちは恐怖に襲われて病院入り口へ殺到。直後に入口付近に爆弾が落ちて全員倒れる(倒れる動きはスローモーション)。煙。照明、舞台が赤く染まる。紗幕が降りてM20終了。紗奥は舞台転換。

第十七場「紗幕前」

M21「脱出」

紗幕前(陸軍病院の通路)に滝軍曹、軍医、神谷先生、親泊先生、上原婦長、檜山上等兵、二人の兵士が集まる。

軍医

敵は近づいた

親泊先生

このままでは全滅です

神谷先生

生徒たちは?

檜山上等兵

逃げましょう 病院から

上原婦長

ここはもう駄目です

軍医

ご決断を

軍曹に詰め寄る軍医、檜山、先生たち。滝軍曹は決断する。

滝軍曹

よし ただ今より我々は
南風原陸軍病院から脱出する

親泊先生

はい！

神谷先生

脱出———！！

先生、軍医、檜山、婦長は退場。滝軍曹と二人の兵士が残る。

滝軍曹

歩ける兵隊は歩いて脱出せよ

一人で歩けぬ兵隊は

青酸カリを入れたミルクを

飲ませて処置せよ

はっ！

二人の兵士

【SE】雷の音と光。兵士の持つやかんが不気味に光る。軍曹と二人の兵士退場。

第十八場 「南風原陸軍病院前の森」

紗幕が飛んで、陸軍病院前の夜の森。【SE】雨の音。どしゃぶりの雨が降るなか、急遽集合させられるひめゆり学徒たち。

神谷先生

みんなよく聞け

これから我らは

病院を脱出する

ひめゆり学徒隊 出発

次々と脱出する生徒、教師、兵士、看護婦たちの列が、雨の森の中に消えて行く。妹ルリを抱き、行く手の闇を見つめるふみ。

脱出する人々

ア———

ア———

命を求めて行こう

闇の中へ

希望と光を

さがして行こう

(脱出する人々)

ア———

ア———

ア———

ア———

【SE】雷の音と光。ふみは妹を抱きかかえるように、脱出する人々の列に加わって森の中に消える。脱出する人々のなかに、杉原上等兵の姿をさがして逆走するキミ。

キミ
杉原さん！・・・杉原さん・・・杉原さん！・・・杉原さん！

大雨の中、神谷先生を見つけて大声で聞くキミ。

キミ
先生！先生！杉原さんは!?

歩けない患者はどうするんです!?

神谷先生
あきらめるんだ!

キミ
先生!!

神谷先生
歩けない患者は殺された！青酸カリで!!

キミ、衝撃を受ける。

キミ
(絶叫) 杉原さ——ん!!

病院に戻ろうとするキミを檜山上等兵の腕が抱き止める。

檜山上等兵

もう遅い！逃げるんだ!

キミ
いや——っ!! 放して——っ!!

檜山上等兵
逃げるんだ!! もう杉原は・・・!

強引にキミを肩に担ぎ上げる檜山上等兵。

キミ
いや——っ!! 杉原さん！杉原さん！杉原さ——ん!!

泣き叫ぶキミを肩に担いで、檜山上等兵は脱出する人々の後を追いかけて、森の中へと消えて行く。音楽高鳴り、緞帳が降りる。

第一幕終了

※休憩20分

ミュージカル「ひめゆり」

第二幕

第二幕本ベル。M 22スタート。客電アウト。

第一場「森の中」

M 22 「脱出く命を求めて」

【SE】雷の音で緞帳アップ。続いて激しい雨の音が重なる。南風原陸軍病院を脱出し、どしゃぶりの夜の森を南へ向けて逃げて行く学徒、先生、兵士、民衆たちの列。沖縄本島南部は、身を隠す事が出来る自然壕が多かったことと、米軍が中西部に上陸したため、南部に逃げるしか道はなかった。だが、首里の司令部が陥落し、南部、摩文仁へ撤退。撤退した日本軍を追って米軍も南部へ進んだため、南部は撤退した軍と避難した多数の民衆を巻き込んだ地獄の戦場となっていく。◆映像9「夜空に迫撃砲が明滅する」フェイド・イン。

脱出する人々

ア
ア
――

学徒たち

命を求めて行こう
闇の中へ
希望と光を
さがして行こう

ア
ア
ア
ア
――

(民衆・先生・兵士)

脱出する人々

逃げだそう 南へ
命を求めて
追って来るアメリカ
行く手は見えない

婦長・先生

生徒たちはどうなる
二百人の命は
日本軍はどうなる
このまま負けるのか

軍曹・兵士

脱出する人々

逃げだそう 南へ
命を求めて

追って来るアメリカ
行く手は見えない

上原婦長

(脱出する人々)

命を求めて

暗闇の先には
希望の朝が来る
最後の夜じゃない
助けはきつと来る

希望の朝が来る
逃げよう闇の中へ
助けはきつと来る

妹のルリを抱きかかえるように歩くふみ。

ふみ

(脱出する人々)

お願いよ どうか
そんなに泣かないで
最後の夜じゃない
頑張つて

暗闇の彼方に
明るい朝は来る
最後の夜じゃない
明日はきつと来る

脱出する人々
学徒たち

ア
ア
ア

(民衆・先生・兵士)

ア
ア
ア

◆次の機銃掃射のSEと共に、映像9はカット・アウト。

【SE】脱出する人々の列を米軍の機銃掃射の雨が襲う。人々は悲鳴を上げて、森の中をちりぢりばらばらになって逃げて行く。

茂み(ボサ)に隠れて逃れたふみとルリが、全員とはぐれて森の中に取り残される。雨は止んでいる。

ふみ
ルリ

(茂みから顔を出し)ルリ・・・?
(離れた茂みから顔を出し)お姉ちゃん!

姉妹はお互いの無事を確認。抱き合う。周囲を見回して。

ふみ

・・・行ってしまったわ もう大丈夫よ

森の中、級友をさがすふみ。

ふみ

キミちゃん・・・はるちゃん・・・みさ!

すでに近くには誰もいない。不安が襲う。

ルリ
ふみ

お姉ちゃん どっちへ行くの?
分からないわ

ルリ

帰りたい 家に

母さんがいるわ
心配している
このまま家に私は帰りたい

妹の思いに応えるふみ。

ふみ・ルリ

二人で家に帰りましょう
戻る道は遠いけれど
たどりつける
怖いけれど帰ってみせる
命かけて

手を繋ぎ、我が家を目指すふみとルリ。退場―転換。M22終了。

第二場「森の中（別の場所／キミ・檜山二幕前半）」

茂み（ボサ）の位置が変わり石垣が出る。森の中、別の場所。

M23「もう一度生まれたら」

一行にはぐれたキミと檜山上等兵が登場。檜山は足を骨折。

檜山上等兵

足をやられた 右足が

キミ

見せて（さわる。激痛）折れてるわ

檜山上等兵

少し休ませてくれ

これは罰だ 罰を受けたんだ

早く逃げろ

歩けない患者は置いてゆけ

出来ないわ

キミ

檜山上等兵

行ってくれ 頼むから

キミ

いや ここにいるわ

誰かをさがすわ

檜山上等兵

静かだ こんなところで死ぬんだ

キミ

死なないわ なぜ死ぬなんて

キミは、檜山の骨折した足の添え木用に枝を拾い、布を引き裂き、添え木を当て、包帯代わりにして檜山の足に縛りつける。

檜山上等兵

時が 時が悪すぎた

こんな こんな時代に
戦いに生きてきた
もしも こんな時じゃなく
違う時代にどこかで会えたら

もう一度生まれたら
戦争を知らない
傷つけ殺さない
そんな世界に生きたい

キミ
時は変わるわ
そして静かな明日が来る
あきらめないで待って
夢見た朝が来るわ
そんな明日が

檜山上等兵
キミ
もう一度生まれたら
やり直せる もう一度

二人
戦争を知らない
傷つけ殺さない
そんな世界に生きたい
いつか
きつと
いつか

M 23 終了。直後に【SE】砲弾の音。二人は緊張する。

M 24 「一日の命でも」

キミは檜山の身体を石垣に隠れる位置まで引きずって行く。【SE】
砲弾の音が続く。キミが石垣の隙間から覗くと、下手側の夜空が真
っ赤に染まり、米軍の激しい攻撃が行われていることが分かる。

◆M 24開始と同時に、映像10「夜空に迫撃砲が明滅する（映像9と
同じ）」フェイド・イン。

檜山上等兵
もう駄目だ この戦争は
日本は負ける
そんなことないわ
もう駄目だ 勝てはしない
負けるんだ！

檜山は、背囊から軍隊手帳を取り出し、キミに渡す。

檜山上等兵

君に頼みたい もし俺が死んだら
これを母のもとへ 送ってほしい
息子はいくさで こう死んだと
君は生き抜いて 伝えてほしい

すべてが無駄だった

なぜこんなことになった

また朝が来れば

何万という命が失われる

かけがえのない

やり直せない もう

◆映像10、フェイド・アウト。

君に頼みたい もし俺が死んだら
母にそのことを 伝えてほしい

死を覚悟する檜山。周囲の森に生命力を感じるキミ。

キミ

いえ あなたはまだ生きているわ

私も この草も

この花も 虫たちも

あの星も生きている

たとえ一日の命でも

たとえ一日の命でも

【SE】近くに砲弾が落ちる。キミは檜山を抱えて茂みの中へ。

舞台転換（石垣はけて、ボサは次の位置に移動）。キミと檜山退場。

第三場 「森の中（別の場所／はるかなみさ）」

M25 「らしく死にたい」

森の中。別の場所。米軍に追われ、森の中を逃げ回り、道に迷った
はる、かな、みさの三人。死に方の相談をする。

はる

首吊りで死のうか

かな

ひもはどうするの？

はる 手榴弾でドカン！
みや やめて みにくいわ
かな いっそ身を投げる？
はる 早く決めて
三人 どうやって死ぬのか

はる 青酸カリある？
かな 二人分だけよ
みや 誰かが残るわ
はる じゃんけんしようか？
みや 一緒に行きましょう
かな どうやって死のう
みや 痛いのはいやよ
かな らくに死にたい
はる 首を絞めましょう・・・さんハイ！

三人はお互いの首を絞めるが、うまくいかない。咳き込むだけ。

はる もしも米軍に見つかれば
捕まって捕虜にされる時
身ぐるみはがされ素っ裸
犯され戦車に吊される

かな 聞いた話じゃアメリカは
ヒトの血を飲む吸血鬼
情けも涙もないものと
思っているのが正解よ

みさ 捕虜になるなら潔く
その身を割いて自決せよ
教え込まれて来たのに
やっぱり死ぬのは恐ろしい

三人 生きるべきか死ぬべきか
それが目下の大問題
捕まりや犯され素っ裸
だけど自分じゃ死にたくない

一寸先は分からない
度胸決めたら大丈夫
どうにかなるわ私たち
どうにもならないこのいくさ

生きるべきか死ぬべきか
それが目下の大問題
生きるべきか死ぬべきか
それが目下の大問題
どうしよう！

【SE】爆弾が近くに落ち、三人は悲鳴を上げて逃げて行く。暗転。

第四場 「洞窟（自然壕）」

M 26 「小鳥の歌」

照明がつくと、舞台は洞窟。ごつごつとした岩の自然壕に、大勢の学徒や兵士、民衆が肩を寄せ合うように避難している。洞窟の入口付近には兵士がいて、敵の攻撃を警戒している。岩の隙間から漏れてくる太陽の光が一筋、地面にうずくまるゆきの肩を照らしている。空を見上げるゆき。

ゆき

あの小鳥になれたら
空を飛んで行けたら
広い青空はどこまでも続く

あの小鳥になれたら
高く飛んで逃げよう
柔らかな雲に浮かんで眠ろう

自由にはばたいて
甘い風を吸い お家へ飛んで行く
母さん ただいま 今帰ったわ

あの小鳥になれたら
空を飛んで逃げよう
広い青空は実家（ふるさと）へ続く

あの小鳥になれたら
白い羽根があつたら
海もあの山も飛び越えて行ける

あの小鳥になれたら
誰にも見つけられない

あの森の中に隠れて眠ろう

自由にはばたいて

高い枝の上 あなたを見つけるの
はるちゃん 私よ もう終わったわ

あの小鳥になれたら

鳥を飛んできがそう

広い青空はあの人へ続く

明日の朝までには

私の魂は

広い青空に飛び立つでしょう

あの小鳥と一緒に

家の庭に帰ろう

母さんの肩を見つけてとまろう

きつと母さんは

気づいてくれるわ ゆきちゃんあなたね

母さん ただいま 今帰ったわ

あの小鳥になれたら

空を飛んで逃げよう

広い青空は天国（ふるさと）へ続く

M 26 終了。

M 27 「ちいさな命に」

洞窟の中に、赤ん坊を抱いたサチ（那覇の女）の姿。可愛い赤ん坊に癒される学徒。苛立ち、妄想をつぶやきながら洞窟内を歩き回る
滝軍曹。

滝軍曹

暑いな ここは

暑い 暑い 暑い

すぐだ すぐだ

すぐに日本軍が総攻撃を始める

すぐだ

サチの赤ん坊に微笑みかける学徒のトミ。

トミ
サチ
トミ
サチ
トミ
サチ
トミ

なんて名前なの？
ゆり
女の子
ええ
お父さんは？
（首を振る）
そう
大きくなるのよ ゆりちゃん
可愛いわ

サチ

私の宝物 たった一つだけ
私に残された ちいさな命よ
お前が生きる世は戦争も終わり
平和な世の中が再び来るでしょう

強く育ちなさい そしてあたたかく
優しい笑顔の 女の子になつて

いつか大人になつて 花嫁姿を
見届けて死ぬのが 私の夢なの

強く育ちなさい そして美しく
誰にも愛される 女の子になるの

私に残された ちいさな命よ

M 27 終了。【SE】突然、サチの赤ん坊が声を上げて泣き出す。

M 28 「スパイ」

赤ん坊の泣き声に滝軍曹が怒り出し、洞窟内が緊迫する。

滝軍曹

うるさい！ 泣くな！
敵に気づかれるぞ
泣くのを やめろ！
敵に聞こえてしまう
やめろ！ 泣くな！

洞窟の入口付近に行き、敵が来ていないか確かめる滝軍曹。緊張する学徒たち。必死に赤ん坊をあやすサチ。

サチ

すみません 今すぐ 静かにさせます

サチは必死で赤ん坊をあやすが、赤ん坊は泣き止まない。

滝軍曹 お前はスパイだ

サチ (驚愕) スパイ!?

滝軍曹 俺たちを敵に知らせるつもりだ!

サチ 敵のスパイだ! アメリカのイヌだ!

サチ 違います!!

サチを捕まえ、乱暴に絞め上げる滝軍曹。恐怖に震える生徒たち。

滝軍曹

俺たちを殺すつもりだ

お前だけ生きるつもりだ

敵に体を売った

アメリカの娼婦だ!

違います!!

滝軍曹

すぐに泣き止ませろ!

すぐに静かにさせろ!

泣くな!! 泣くな!!

サチは必死であやすが、赤ん坊は火がついたように泣き続ける。ついに滝軍曹は、赤ん坊をサチから取り上げる。サチは赤ん坊を取り返そうと滝軍曹に飛びつくが、弾き飛ばされる。赤ん坊の首を折り、地面に落とす滝軍曹。生徒たちの悲鳴。サチは赤ん坊にしがみつくが、死んでしまったことに気づき、愕然として軍曹を見る。すでに地獄の鬼のような狂気の目でたたむ滝軍曹を見て、恐怖にかられ、思わず後ずさりするサチ。サチは洞窟の壁まで来ると、ゆっくりと立ち上がり、滝軍曹に向かって絶叫する。

サチ

人殺し!!

日本軍は沖縄の人間を殺すために来たのか!!

人殺し——!!

【SE】銃声。容赦なくサチを撃ち殺す滝軍曹。もんどりうって倒れるサチ。洞窟内の学徒や民衆は悲鳴を上げ、泣き叫び、洞窟の出口へ殺到。兵士たちに打ち据えられる地獄絵図となる。サチは赤ん坊まで地面を這いずり、赤ん坊の体に触れて息絶える。暗転。

第五場 「焼け落ちた那覇の街」

M 29 「家に帰ろう」

舞台転換。照明がついて、焼け落ちた那覇の街。◆照明がつくと同時に、映像11「焼け落ちて廃墟となった那覇の教会」フェイド・イン。破壊された窓からは、まだ火と煙が上がっている。無数の死体が道ばたに転がっている。舞台奥から、妹の手を引き歩く疲れ果てたふみの姿。変わり果てた街の絶望的な風景を見ながら行く。ルリが力なく倒れる。

ふみ
ルリ

ルリ
お姉ちゃん 私苦しいの

ふみはルリの額に手を当てる。

ふみ
ルリ
ふみ
ルリ
ふみ

ひどい熱だわ
私 歩けない
ルリ・・・
私もう駄目よ お姉ちゃん
私を置いて 一人で行つて
何を言つてるの

ルリ

お前を置いて行けるものですか
さあ お姉ちゃんの背中に
おぶつて行くわ
お姉ちゃん・・・

泣くだけのルリ。

ふみ

いつも一緒よ
お前を離さないわ
涙を拭いて 元気を出して

家へ帰ろう 道は遠いけど
生きて帰ろう 涙を拭いて

二人

家へ帰ろう 道は遠いけど
生きて帰ろう 涙を拭いて

ふみ

さあ お母さんが待っているわ！

妹を背負い、歯をくいしばり、鬼神のような強い表情で立ち上がるふみ。一歩一歩、歩き出す。退場で暗転。◆暗転と同時に、映像11

フェイド・アウト。M 29終了。【SE】砲弾の音が続く中で舞台転換。

第六場 「森の中」

M 30 「人を殺せと教えて」

照明がつき、再び夜の森。神谷先生、親泊先生、上原婦長に率いられた学徒たち一行が登場。神谷先生、先頭で指示する。

神谷先生

少し休もう

腰をおろして休息する学徒たち。全員の疲労は極限に達している。数人の学徒たちが、決意の表情で神谷先生に近づく。

みち
のぶ
しず
ちえ

先生 死にましよう
死にましよう
死にましよう
先生！

神谷先生は、苦しい表情を浮かべて学徒に答える。

神谷先生

人を殺せと教えて 生徒を巻き込んだ
それが先生か それが教育か
僕には出来ない

親泊先生

人を殺せと教えた それが正義だと
かたく信じてた 燃えた一度は
束の間の勝利に

神谷先生

今思う たそがれに
君たちは生きる

今までお国のために死ねと教育されていた学徒たち。神谷先生の「生きる」という言葉に驚き、混乱した表情を見せる。

神谷先生

人生は豊かだと知ってほしい
今はそれしか言えない

親泊先生

人を殺せと教えた それはなぜなの

今は分からない 道を間違えた
あまりに遅すぎた

神谷・親泊先生

今思う たそがれに

君たちは

神谷先生

生きろ

親泊先生

生きて

神谷・親泊先生

人生は豊かだと知ってほしい

今はそれしか言えない

学徒たちに土下座して謝る神谷先生。

神谷先生

申し訳ない！ 申し訳ない！・・・申し訳ない！

神谷先生、男泣き。学徒たちも泣きじゃくる。親泊先生は神谷先生を抱えて茂みのかげへ連れて行き、休ませる。M30終了。

M31 「夢を見ましょう」

代わって学徒たちを元気づけようと上原婦長が学徒の中へ。

上原婦長

そうよ 若いあなたたちには

未来がある 夢を持てる

希望に満ちた人生がある

私に話して みんなの夢を

あきちゃん

あきは、上原婦長にうながされて、自らの夢を語る。

あき

私の夢は普通よ お嫁に行くわ

子供をたくさんつくるわ 10人以上

みち

叶うならば私は先生になりたい

いろんな本を読みたい 恋の本も

みちを見つめる親泊先生と神谷先生。

上原婦長

甘い夢を見ましょう

心が晴れる

素敵な夢を見ましょう

それが大切

心に描く憧れ
燃えるときめき
そんな夢を見ましょう
どんな時も

夢を持って信じること
どんなことも叶う
小さな夢が生きる力
あなたを支える

のぶ
私は船で行きたい 南の島へ
恋人と二人で星を見るの

級友に笑われるのぶ。

クミ
出来るならば私は東京へ行きたい
バスの車掌になりたい
発車オーライ!

上原婦長
甘い夢を見ましょう
心がはずむ
素敵な夢を見ましょう
それが大切

上原婦長・学徒たち
甘い夢を見ましょう
心が晴れる
素敵な夢を見ましょう
それが大切

間奏。明るさと笑顔を取り戻した学徒たちを見て、両手で顔を覆って泣く上原婦長を、今度は学徒たちが励ます。

上原婦長・学徒たち
素敵な夢を見ましょう
どんな時も
ア

M31終了。神谷先生が何かを決意した表情で、学徒たちの中へ。

M31A 「神谷先生の決意」

神谷先生
みんなおながすいただろう
キャベツを取ってこよう

丘の上に畑があった

喜ぶ学徒。危険なことに気づく親泊先生と上原婦長。

親泊先生
上原婦長

神谷先生・・・！
駄目よ！

神谷先生

近くに米軍がいるわ
なんとか取ってきます

あき

やめて先生！

やえ
のぶ

やめて！
先生！

神谷先生

大丈夫 これでも学生時代は
陸上の選手だったんですよ

神谷先生は鞆の中から拳銃を取り出し、上原婦長に渡す。

神谷先生

万が一の時には お願いします！

意を決して走って行く神谷先生。退場直後に米軍の機銃掃射の音。

【SE】悲鳴を上げ、泣き叫ぶ学徒たち。

学徒たち

先生——っ！！

上原婦長と親泊先生は、学徒たちを導いて森の中へ逃げて行く。

第七場 「森の中（いろいろな場所）で」

M32 「悲劇の夜（メドレー）」

茂み（ボサ）が位置を変え、照明が変化して、森の中の別の場所を作る。日本人に降伏を呼びかける米軍のアナウンスがこだまする。

米軍アナウンス

『降伏シテ、出テ来ナサイ。降伏シテ、出テ来ナサイ。日本人ハ、タダチニ降伏シナサイ。』

追い詰められ、暗い森の中の狭い空間に集まった岡教頭先生と学徒たち。もはやこれまで。覚悟を決めて手榴弾を取り出す岡教頭。

岡教頭先生

生きて虜囚のはずかしめを受けず！

岡教頭先生を中心に身体を寄せ合い、手榴弾で自決する学徒たち。爆発音【SE】と共に中心に煙が上がり、布が飛散。学徒たちは即死する。三人の学徒がやって来て、級友の死体を発見、泣き叫ぶが、米軍兵士に追われて、三人は森の中へと逃げて行く。短い暗転。自決隊は退場し、中央に石垣がセッティングされる。照明がつく。石垣に沿って、這いながら進むはる、かな、みさ。石垣の奥を進む米兵。米兵に見つかりそうで見つからないはる、かな、みさ。

はる・かな・みさ

見つかったら最期よ

捕虜になったらおしまい

神様どうか守ってください

どっちへ逃げよう

分からない

はる

かな

みさ

三人

お水が飲みたい おなかですいたわ

のどはカラカラ おなかペコペコ

少しでいいから 食べたいわ

はる

かな

みさ

三人

いつから食べてない？

忘れたそんなこと

おなかですいた もう歩けない

もう駄目 逃げるのは

死にたいわ

恐ろしいあのアメリカ！

恐ろしいあのアメリカ！

走って逃げて行くはる、かな、みさ。舞台転換。石垣がはけて茂み（ボサ）が移動。森の中の別な場所。舞台奥から上原婦長に率いられた学徒一行が登場。上原婦長は、サーチライトの光を避けて茂みに学徒を隠し、米軍が通り過ぎるのを待つて生徒たちを誘導、森の中へ逃げて行く。

代わって、夜の一本道を家を目指すふみとルリ。

◆映像12「二匹の蝶が飛ぶ」フェイド・イン。

ふみ

ルリ 取ってきたわ

ルリ

砂糖きびよ 甘いわ

ふみ

お姉ちゃん

ふみ

食べなさい

ルリ

ほら 元気が出るわよ

ルリ

もうすぐふるさとだわ

ルリ

あの山を越えて行くのよ

ルリ

お家に着くの

ふみ

ええ お家よ もうすぐ

ふみは、近くに小川のせせらぎを発見。卒業式の時にゆきから渡されたハンカチをせせらぎに浸して絞り、汚れた妹の顔や手を拭う。卒業式を思い出し、級友を思いながら「別れの歌」を口ずさむふみ。

ふみ

友達だった あたたいい人に

ふみ・ルリ

今言えるのは ありがとうだけ

ふみ・ルリ

遙かな希望と 熱い思い胸に

ふみ・ルリ

私は旅立つ まだ見ぬ世界へ

疲れた身体に鞭打ち、妹を背負って歩き出すふみ退場。

◆ふみの音楽終了で映像13「爆撃で燃える森」にクロスフェイド。
茂み（ボサ）が移動して、森の中、別の場所となる。米軍に追われながら必死で逃げるはる、かな、みさ。キャベツを両腕に抱えた神谷先生を米軍の機銃掃射が襲う。神谷先生の死。はる、かな、みさは危ういところで逃げ延びる。二人の学徒（かずとまさえ）が逃げて来て、機銃掃射に撃たれて倒れる。遅れてやって来たもう一人の学徒（キク）が、二人がやられたことに気づく。

キク

かずちゃん！ まさえちゃん！

友人二人の死を悲しむ暇もなく、米兵に追われて逃げて行くキク。森の中で、息絶えた神谷先生を発見する上原婦長、親泊先生、学徒。

学徒たち

先生！！ 神谷先生！！ 先生—— つ！！

神谷先生にすがって泣きじゃくる学徒たち。近くで米軍アナウンスが聞こえる。敵はすぐそばにいる。

米軍アナウンス

『降伏シテ、出テ来ナサイ。タダチニ、降伏シナサイ。タベモノ、イッパイ、アリマス。降伏シテ、出テ来ナサイ。』

上原婦長

行きましよう！ 皆さん、行きましよう！

学徒たち

いや——！

上原婦長と親泊先生は、キャベツを持ち、生徒たちを森の中へと走らせる。上空を飛ぶ米軍機の轟音。神谷先生の死体を発見する米兵。照明、溶暗。◆暗転と同時に映像13フェイド・アウト。M32終了。

第八場 「森の中（別の場所／キミ檜山二幕後半）」

M 33 「檜山の告白」

照明がついて、森の中の別の場所。足を骨折して動けない檜山上等兵一人。背囊から拳銃を取り出し、じつと見つめ、自分のこめかみに近づける。食料をさがしに行っていたキミが痩せた芋を手に戻って来て、その姿を発見し、檜山に飛びかかる。

キミ

やめて————っ!!

キミは檜山と揉み合って拳銃を奪い取り、遠くへ投げ捨てて泣く。

キミ

ばかばかばか！ なぜそんなことを！

檜山も泣く。

檜山上等兵

死なせてくれ

キミ

駄目よ 死ぬなんて

檜山上等兵

手を汚して来たんだ 俺は

キミ

駄目！

檜山上等兵

君は生きるんだ

キミ

あなたもよ

檜山上等兵

生きられない 俺は

檜山上等兵

戦争とは何か

俺は見て来た

戦争とは何か

それは地獄だった

南のジャングルで

砲弾の雨の中を

さまよい続けた

敵も味方も

殺して奪い合った

そいつの肉さえも

食らって生き残った

鬼畜とは俺だ

生きている価値がない

卑劣で残虐な

かぎりを尽くした

なぜこんな
自分になつた
失つた心
戻れない今は

戦争が俺を
壊してしまつた
早く行つてくれ
俺から離れて

もう人間ではない
生きることは出来ない
早く行け！ 行くんだ！
行け———！！

キミの身体を突き飛ばす檜山。M34へ。

M34 「生きている」

キミ

いや
生きてるわ 私たち まだ
命があるのよ あるのよ

男泣きの兵隊。兵隊にしがみついて泣くキミ。

キミ

生きていること
ここで今あなたと
かたく抱き合えば
涙があふれる

生きていること
声をあげ泣いてる
孤独な夜の底
暗闇に寄り添う

すべてをなくした
声のかぎり泣いた
生きて行く怖さに
死にたくなつた

生きてこそめぐりあい

新しい何かが生まれる
生きていること
この広い世界に
命を与えられて
二人は生きている

はかなく壊れた
夢のように消えた
すべての望みが
見えなくなつた

だけどまだ感じてる
あたたかいあなたの涙を
生きていること
この広い世界に
命を与えられて
私は生きている

突然、米軍戦闘機の轟音【SE】が近づき、激しい機銃掃射の音【SE】が響く。二人の周囲の茂み（ボサ）が風で激しく揺れる。檜山は、とつさにキミの上に身体をかぶせて、キミをかばう。檜山は機銃掃射で背中を蜂の巣にされ、即死する。起き上がり、檜山の突然の死を知り、泣き叫ぶキミ。

キミ

檜山さん！ 檜山さん！ 檜山さん！！

キミは上空を旋回する檜山を殺した米軍機を見上げ、立ち上がり、狂乱して叫ぶ。

キミ

私も殺して！ 私も殺して！
お願いよ！ 私の命も奪つてちょうだい！
私も殺して！ 私も殺して——！！

米軍機をどこまでも追いかけて行く悲痛な少女の姿。沖縄の丘に高々と掲揚される星条旗。アメリカ国歌。敬礼する米兵。暗転。

第九場 「洞窟（自然壕）」

M35 「助けてくださいら」

照明がつく。薄暗い南部の洞窟（自然壕）に身を寄せ合う学徒、民衆、兵隊。上原婦長と親泊先生に率いられた学徒たちも、傷ついて洞窟内に身を潜ませている。もはや、祈るしかない乙女たち。

学徒・民衆女性

夜明けの見えない
暗闇のベッドで
私は祈ります
呼び続けています

ゆき

あき

みち

涙の果てには
朝が訪れると
今も信じます
幼い日のように
助けてください
私たちの命

学徒・民衆女性

助けてください
助けてください

傷だらけのキミが洞窟にはいつてくる。キミに気づくゆき。

ゆき

——キミちゃん！

キミを抱えるゆき。キミは、身体を横たえ、学徒に支えられている上原婦長の姿に気づく。婦長に近づいて。

キミ

上原婦長

キミ

婦長さん！
キミちゃん 無事だったのね
ええ

鮮血で染まった上原婦長のおなかを見てショックを受けるキミ。

上原婦長

撃たれてしまったの
もう助からないわ

上原婦長

のぶ
キク

神谷先生が亡くなったわ
それから さきちゃんも
かずちゃんとまさえも
頭を撃たれて

（学徒たち）

ウ
ウ
ウ
ウ
|
|
|
|

キミは悲しみと無念の思いに涙を流す。

学徒・民衆女性

暗い洞窟に

見捨てられた命
助けてください
助けてください
助けてください

洞窟内、じっと助けを待つだけの人々を見渡すキミ。

M 36 「降伏か死か」

洞窟の人数がまた増えたことに対して苛立つ滝軍曹。

滝軍曹

また誰か来たな
狭い洞窟に
役に立たぬ奴
はいつて来たな

キミに詰め寄る滝軍曹。キミの襟首をつかんで。

滝軍曹

静かにしている
ここは陸軍の
玉砕のための
秘密の基地だ

もうじき本土から

応援が来る

アメリカを叩くため

やってくる

学徒たち

助けてください

私たちの命

助けてください

だまれ——!!

滝軍曹

洞窟の外を走行する米軍戦車のキャタピラーの音。【SE】続いて降伏を呼びかける米軍アナウンス。洞窟内が緊迫。人々は動揺する。

米軍アナウンス

『降伏シテ、出テ来ナサイ。コノ穴ノ中ニ、誰カイマセンカ。イタラ、白旗ヲアゲテ出テ来ナサイ。食ベ物モ、水モ、イツパイ、アリマス。コハ、危険デス。出テ来ナサイ。』

立ち上がる人々を力で制する滝軍曹。

滝軍曹

言うことを聞くな！
絶対に行くな！
敵の甘い罠にだまされるな！

米軍アナウンス

『出て来ナイト、攻撃シマス。ココハ、危険デス。ココハ、危険デス。
出て来ナサイ。』

滝軍曹は洞窟の出口へ。兵隊たちに臨戦態勢を命じる。キミは投降を決意して身近な学徒に告げる。

キミ

このままではみんな殺される
私行くわ 白旗を手に持って

反対し、キミを止めようとする学徒。学徒靴から白布を取り出すキミ。それを見た滝軍曹がキミの頭に拳銃を突きつける。悲鳴を上げる学徒。キミは驚いて地面に白布を落とす。

滝軍曹

出て行くのなら
お前を殺す
捕虜になるのは
最大の恥
教えてやろう
美しい死を

滝軍曹の銃弾で、サチが殺されたことをそばで見っていたゆきは、勇気を振りしぼってキミを助けるため、滝軍曹の拳銃を奪おうとするが、失敗する。怒り狂ってゆきを殴る滝軍曹。悲鳴が上がる。キミをかばおうと身を挺する親泊先生。

キミ

このままではみんな殺される
私は賭けたい 降伏するわ！
ア――――
！

地面に落とした白布を滑り込んで拾うキミ。銃を突きつける滝軍曹と洞窟内で対峙する。

キミ

死ぬのをじっと

滝軍曹

捕虜になるのか

キミ

待っているのは

滝軍曹

お前は恥だ

キミ

とても

滝軍曹

日本人なら

キミ

出来ない

滝軍曹

自決を選べ

キミ

私は出て行く

米軍アナウンス

『ココハ、危険デス。ココハ、危険デス。出テ来ナイト、攻撃シマス。出テ来ナイト、攻撃シマス。』

米軍のアナウンスに滝軍曹がひるみ、キミから視線をそらせた瞬間を見たみちが、「行って！」とキミに指示する。だが、それが滝軍曹に見つかり、滝軍曹はみちを捕まえて拳銃を突きつける。悲鳴！キミは自分から白布を捨て、滝軍曹に向かって行く。

キミ

狂っているわ

(滝軍曹) 許しはしない

そうよあなたも！

お前を殺す！

狂っているわ

捕虜になるなら

私は出て行くわ！

お前を殺す！

キミの頭に拳銃を突きつける滝軍曹。キミは、地面の砂をひとつかみ、滝軍曹の目に投げつける。格闘。隙を見て白布を拾い、洞窟の出口に走るキミ。キミを撃ち殺そうと銃を構える滝軍曹。【SE】一発の銃声。ゆっくりと地面に倒れる滝軍曹。キミの命を救うため、最後の力を振りしぼって、神谷先生から渡された拳銃で滝軍曹を撃ったのは、上原婦長だった。

M 37 「上原婦長の死」

上原婦長に駆け寄るキミ。息も絶え絶えの上原婦長。

キミ

上原婦長……！

上原婦長

出て行きなさい

出て行くの

この地獄から

生きてこそもう一度

新しい何かが生まれる

上原婦長は、看護婦（赤十字）の腕章をはずしてキミに与える。

キミ

死なないで

生きていて

あなたと戦いたい

上原婦長

希望は消えない

(キミ) お願い

命の重さ
すべての人たちが
気づく
その時まで

生きていて
この世からいくさが
消える
その時まで

息絶える上原婦長。泣いて婦長に抱きつくキミ。学徒。

その時、「ガタン！」と音【S E】がして、洞窟内に米軍のガス弾が投げ込まれる。もうもうと毒ガスの煙が上がリ、洞窟はパニックになる。もだえ苦しみ、「お母さん！」と叫びながらバタバタと倒れて行くひめゆり学徒、民衆、兵士。

キク

お・・・母・・・さん。(死ぬ)

やがて、一人も動かなくなる。折り重なるように死んだ人々。煙だけがもうもうと渦を巻く恐ろしい静寂。幕開き以来、初めて音楽が止まる。「G・P (ゲネラル・パウゼ)。全部の楽器が休むこと」

やがて、その中から、ゆっくりと身体を起こそうとするキミの姿が浮かび上がる。キミは、上原婦長から渡された腕章で口と鼻を覆い、ガスの中、必死で洞窟の出口(舞台前)に向かって這いずり、途中で意識を失い、動かなくなる。キミの奥に紗幕が降りる。

第十場 「紗幕前」

M 38 「キミの夢」

意識を失ったキミの夢に、亡くなった人々(紗奥に浮かぶ)が現れて呼びかける。

杉原上等兵

学生さん ありがとう

キミ

・・・杉原さん

杉原上等兵

ありがとう 学生さん

続いて、檜山上等兵がサスに浮かぶ。

キミ

檜山さん・・・

檜山上等兵

生きるんだ 君は

ちよがサスに浮かぶ。

ちよ

キミちゃん

キミ

ちよ・・・！

ちよ

ねえ 覚えてる？ 夏のあの日

キミ

川で泳いで溺れたわね

キミ

ええ 覚えているわ

続いて、ゆきとあき。

ゆき

ねえ 覚えてる？ 冬のあの日

あき

帰りに食べた 甘いお菓子

キミ

ゆきちゃん・・・あきちゃん・・・みんな！

亡くなった級友たち。

学徒たち

共に学んだ 校舎をあとにして

今日からは一人 それぞれの明日へ

二度と戻らない 優しいこの日々

口づけしてゆく さよならと告げて

友達だった あたたかい人に

今言えるのはありがとうだけ

遙かな希望と 熱い思い胸に

私は旅立つ まだ見ぬ世界へ

級友たちは、笑顔でキミに手を振りながら消えて行く。

続いて、美しい光の中に上原婦長が現れて呼びかける。

上原婦長

出て行きなさい

出て行くの

この地獄から

生きてこそもう一度

何かが生まれる

希望は消えない

命の重さを

すべての人たちが

気づくその時まで

その時まで

意識を失うキミ。死んだ人々の魂は、無数のほたるとなつてキミの周囲を舞い、暗闇の中へ飛び去って行く。暗転。紗幕が飛ぶ。

第十二場「最南端の海岸」

M 39 「投降く帰郷」

照明がつく。沖縄本島最南端の海岸を、ぼろぼろになりながらもまだ死にきれずに彷徨うはる、かな、みさ。舞台前は海。

◆照明がつくと同時に、映像14「海岸」フェイド・イン

はる・かな・みさ

生きるべきか死ぬべきか

それが目下の大問題

捕まりや犯され素っ裸

「だけど自分じゃ死にたくない

生きるべきか死ぬべきか

それが目下の大問題

三人の背後から四人の米兵が近づき、彼女たちを囲む。

米兵に囲まれたことに気づいて驚愕するはる、かな、みさ。

キヤ———！！

殺せ！

殺せ！

殺せ！

三人に水筒の水をすすめる米兵。迷う三人。

毒よ！

ノー！ノー！飲まない！

どうせ死ぬなら飲んで死にましょう

水筒を奪って飲む三人。「おいしい！」「生き返る！」など、それ

ぞれに。

死なないわ

殺せ！

殺せ！

殺せ！

三人に食料をすすめる米兵。迷う三人。

はる
かな
みさ

毒よ！
ノー！ ノー！ 食べない！
どうせ死ぬなら食べて死にましよう

米兵に与えられた食料を食べる三人。「おいしい！」など、それぞれに。

かな

死なないわ

はる

殺せ！

かな

殺せ！

みさ

殺せ！

三人

殺せ——！！

◆歌が終わると同時に、映像14はフェイド・アウト。

水や食料を与えたり、傷の手当てをしてくれる米兵の優しい態度に、ただただわけが分からなく、泣きじゃくるだけのはる、かな、みさ。米兵は噴霧器で三人にDDT（シラミなどの殺虫剤。当時は使われていた）をかける。三人は米兵に連れられて号泣しながら退場。

第十二場 「ふみの家」

舞台転換（奥紗が上がる）して、舞台中央奥にふみの家。妹を連れてたふみがようやく帰郷する。

ふみ

さあ ついたわ お家よ

お母さん お母さん

母はいない。母をさがして裏庭の方に走るふみ。家の奥から母キヨ登場して、ルリを見つけ、抱きしめる。ふみ、ルリを抱く母に気づき、泣き声を上げて母に駆け寄る。固く抱き合って号泣する母子。暗転で退場。M 39終了。

第十三場 「投降」

M 40 「生きている（フィナーレ）」

舞台転換。舞台中央に石垣が置かれる。白旗を掲げ、米軍に投降して行く人々の列に混じって、傷だらけの少女が歩いてくる。悲劇の

洞窟で奇跡的に生き残ったひめゆり学徒のキミ。

キミ

生きていること
ここで今あなたと
かたく抱き合えば
涙があふれる

生きていること
声をあげ泣いてる
孤独な夜の底
暗闇に寄り添う

舞台転換。石垣のセットは消え、フィナーレとなる。

第十四場「フィナーレ」

キミ

すべてをなくした
声のかぎり泣いた
生きて行く怖さに
死にたくなつた

生きてこそめぐりあい
新しい何かが生まれる
生きていること
この広い世界に
命を与えられて
私は生きている

生き残ったふみ、ルリの姉妹と、はる、かな、みさが加わる。

ふみ・ルリ

すべてをなくした
声のかぎり泣いた
生きて行く怖さに
死にたくなつた

はる・かな・みさ

生き延びた学徒の心に、亡くなった学徒全員の面影が加わる合唱。

学徒たち

生きてこそもう一度
新しい何かが生まれる
生きていること

この広い世界に
命を与えられて
私は生きている

生きてこそもう一度
新しい何かが生まれる
生きていること
この広い世界に
命を与えられて
私は生きている

アアア
ア——ア——
ア——

音楽高鳴り、緞帳が降りる。

幕

第十五場「カーテンコール」

M41「カーテンコール」

緞帳アップ。キャスト全員が観客の拍手にこたえて挨拶（パウズ）。
最後にキミ。舞台中央で歌う。

キミ

あの小鳥になれたら
高く飛んで逃げよう
柔らかな雲に浮かんで眠ろう

自由にはばたいて
甘い風を吸い お家へ飛んで行く
母さん ただいま 今帰ったわ

全員、整列して大合唱。

全員

あの小鳥になれたら
空を飛んで逃げよう
広い青空はふるさとへ続く

全員で挨拶。観客に手を振って——— 緞帳。
※「ダブル・カーテンコール」は無音でスタートします。

ミュージカル「ひめゆり」 幕